

〒758-8555 山口県萩市大字江向 510
TEL : 0838-21-7765
e-mail : hg-geo@city.hagi.lg.jp
HP : <http://www.city.hagi.lg.jp/site/hg-geo/>

発行：萩ジオパーク構想推進協議会 事務局

【報告】現地審査、無事に終了 ご協力に感謝 8/7(日)～9(火)

8月7日(日)から9日(火)の3日間、萩ジオパーク構想のエリアの各所で日本ジオパーク認定の現地審査が行われました。

審査員として来萩されたのは、宮原育子先生(日本ジオパーク委員会委員。宮城学院女子大学現代ビジネス学部学部長)、平田大二先生(日本ジオパーク委員会委員。神奈川県立生命の星・地球博物館館長)、白井孝明先生(室戸ジオパーク推進協議会地質専門員)の3人の先生方で、笠山山頂や萩城下町でのガイド実演のほか、越ヶ浜小学校でふるさと学習の一環として行われているジオパーク活動の取組、須佐湾遊覧船のジオツアーとしての取組、「龍が通った道」における豊ヶ淵交流事業実行委員会による地域おこしの取組、萩まちじゅう博物館による地域の文化・歴史・自然のおたからを再発見し、守り育てながら誇りをもって次世代に伝えていく取組等の視察が行われ、関係者に対してヒアリングがありました。

視察・ヒアリングには猛暑の中、多くの会員の皆様のお力添えをいただき、おかげさまで各地域のジオパーク活動の状況については、ほぼ100%お伝えすることができたように思います。本当にありがとうございました。

講評では、先生方から「萩の自然の豊かさを原動力に、各地域においてポテンシャルの高い活動が行われている」など、高い評価をいただくことができました。同時に、活動をよりよいものにするために、運営面などで多くの助言や指摘をいただきました。

認定の可否は、加盟申請書、プレゼンテーション、今回の現地審査を基に、9月9日(金)に開催される日本ジオパーク委員会での審議が行われ、発表される予定です。



(明神池で小学生のガイドを視察)



(船上から須佐湾を視察)

弥富地区「龍が通った道まつり」が、盛大に開催 7/24(日)

7月24日(日)、弥富地域では「龍が通った道まつり」が、交流センター及び各ジオサイトを会場に開催されました。今回はメインの現地を学ぶバスツアーを、スタンプラリー方式に替えて実施。これができるのも、「学習の積み上げ」ができ、地元の人々が自信をもってガイドができる態勢になったからこそ。山陽方面からの参加者も多く見られました。また、今回はガイドに加え、「大地のめぐみ」である地元野菜や果物、川魚などの販売もありました。大地の成り立ちを学び、その魅力を守るために保全をし、その魅力を外から訪れる方々に伝える。そして、これを地域おこしにもつなげる。正に、ジオパークの活動そのものと言ってよい取組です。こうした取組を拡大し、継続していけるように事務局としても努めていきたいと思っております。今後ともご支援のほど、よろしく願いいたします。

〔感想〕

今年の「龍の通った道まつり」は、昨年までのバスによる伊良尾火山などのジオサイト巡検に代わって、参加者が各自でジオサイトを観て回るスタンプラリー方式でした。地元ガイドによる解説と出店での物産販売もありました。自分の足で巡る方法は、意識を高め、印象深い見学にさせるものでした。最終ゴールでのスタンプ文字の完成により、地元米2合のプレゼントがありました。また、昼食の弥富十割そばは美味しかったです。改善の意味を込めて一言、広域のジオサイトを巡るための分かりやすい道案内の工夫が必要では。(山口市の一参加者)



(自信をもって説明をする地元ガイド)

教員向けジオ研修会 『城下町の町づくり』を学ぶ 7/29(金) 『伊良尾火山のつくった大地』を学ぶ 8/10(水)

7月29日(金)、午前8時30分から11時30分まで、萩阿武小学校教育研究会社会科部会と合同で、萩城下町を中心に樋口尚樹支援員が講師を務め、現地研修会を行いました。午後からは、社会科部会の研修会として須佐方面に行きました。世界文化遺産の構成資産でもある萩城下町は、毛利氏が萩三角州の上に建設した町です。実際に浜崎から堀内、御成り道を「城下町絵図」を手に歩いて、土地の高低差や土地利用を体感しました。ジオパークは地形とその土地での暮らし方(文化)を、楽しむ場でもあります。水との戦い、洪水災害の歴史についてもふれ、「防災教育にもジオパークの活用を」と呼びかけました。

8月10日(水)、午前8時から午後0時30分、「龍が通った道」の現地見学を行いました。今回の案内書は、むつみ中学校の藤田尚子先生が作成。理科室をお借りして概要を説明していただきました。また、伊藤靖子事務局員の案内により、伊良尾火山灰層観察施設で火山の噴出物を観察しました。その後、壺ヶ淵、猿尾の滝、龍鱗郷と溶岩がつくった地形を観ていきました。途中、阿武町の農産物直売所「福の里」からは伊良尾山の全景を眺望し、江戸時代に“どのように伊良尾山やその火山地形が描かれてきたのか”、樋口支援員が解説しました。

子どもたちが、直接現地で学ぶ機会はなかなかつくれませんが、学校の先生方に関心を持っていただき、「ジオパーク」を体感していただく機会になったと思います。



(地勢を考えた町並みを体感)

第7回日本ジオパーク全国大会・伊豆半島大会 参加者募集

10月10日(月・祝)から12日(水)にかけて、第7回日本ジオパーク全国大会が伊豆半島ジオパークを会場に開催されます。一緒に、全国の活動にふれてみませんか!



第7回日本ジオパーク全国大会・日本ジオパーク伊豆半島大会
会期:平成28年10月10日(月・祝)~12日(水)
会場:静岡県沼津市・プラザヴェルデほか

大会公式HP アドレス <http://7th-jgn-izu-peninsula.jimdo.com/>

10月10日(月・祝)、伊豆半島内の美しい、面白いはもちろん、日本各地のジオパークが沼津のプラザヴェルデに集結! 飲食ブースや物産ブースをはじめ、各ジオパークならではの実演が見られる体験コーナーなど、盛りだくさん。高校生が日頃の学習の成果を発表したり、講演が行われたり、ジオパークを知っている人はもちろん、知らない人も楽しめる一日となっています。

10・11日の二日にわたって開催される分科会は、保全・保護、防災、ガイド、教育、観光など12の部会に分かれて協議し、見識を重ねます。11・12日に開催されるジオツアーは、全11コース。現地を楽しむことだけでなく、他地域からの参加者や地元ガイドの皆さんとの交流を深める場ともなります。

内容の詳細、行程等は、萩ジオ推協事務局まで、お気軽にお問合せください。

- 日時:10月10日(月・祝)~12日(水) (萩市役所 出発:午前6時頃、帰着:午後10時頃)
- 会場:プラザヴェルデ(静岡県沼津市)、各ジオツアー開催地
- 参加負担金(旅費・宿泊費等):10月10・11日の大会のみ参加 30,000円程度
2泊3日の全行程参加 40,000円程度
- 申込締切:事務局へ9月2日(金)までに、電話またはメールでお申込みください。
詳しい資料をお送りいたします。

9月の予定

○日本ジオパーク登録認可結果発表 9月9日(金)15:00頃(予定)